

問1 鎌倉幕府において、将軍から領地の所有権を認められるなどの恩恵を何という？

1. 御恩 2. 軍役 3. 奉公 4. 年貢

問2 鎌倉時代の武士が好んだ、飾らずに自分を律する生活態度のことを何という？

1. 簡素 2. 厳格 3. 質素 4. 勇猛

問3 十三世紀後半、モンゴル帝国から日本へ侵攻してきた軍隊を何という？

1. 平氏軍 2. 朝廷軍 3. 元軍 4. 鎌倉軍

問4 平氏が滅亡し、武士が政治の実権を握るきっかけとなった出来事が起きたのは西暦何年？

1. 1189年 2. 1192年 3. 1180年 4. 1185年

問5 浄土宗の教えが急激に広まったことを警戒した旧仏教勢力との対立により、法然が讃岐へ流された出来事を何という？

1. 建永の法難 2. 承元の法難 3. 嘉元の法難 4. 元寇

問6 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？

1. 北条時宗 2. 北条貞時 3. 北条時頼 4. 北条高時

問7 将軍と御家人の関係において、御家人が果たすべき最も重要な任務の一つである、戦いに参加する義務を何という？

1. 公事 2. 夫役 3. 軍役 4. 番役

問8 源頼朝が全国に配置した、軍事・警察権を持つ役職である「守護」と、荘園や公領の管理・年貢徴収を担う役職をまとめて何という？

1. 院庁・検非違使 2. 国司・郡司 3. 摂政・関白 4. 守護・地頭

問9 鎌倉時代、元軍による侵攻の際に、従来の武士の戦法である一騎打ちを行うことで苦戦を強いられた、当時の武士階級の呼び名を何という？

1. 荘園領主 2. 御家人 3. 国司 4. 地頭

問10 モンゴル帝国（元）の遠征を受けた際、当時の日本を統治していた幕府を何という？

1. 鎌倉幕府 2. 平安京 3. 室町幕府 4. 平氏政権

問11 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？

1. 道元 2. 親鸞 3. 一遍 4. 日蓮

問12 鎌倉時代、幕府の打倒をめざして挙兵し、敗れて隠岐に流された人物は誰？

1. 後白河上皇 2. 崇徳上皇 3. 後醍醐天皇 4. 後鳥羽上皇

問13 北条時宗が執権として防戦にあたった、大陸から攻めてきた軍勢を何という？

1. 宋軍 2. 元軍 3. 清軍 4. 鎌倉幕府軍

問14 『東方見聞録』を記した、モンゴル帝国のフビライ＝ハンのもとを訪れたイタリアの旅行家は誰？

1. マルコ・ポーロ 2. イブン・バットウータ 3. コロンブス 4. フビライ・ハン

問15 東大寺南大門に安置されており、運慶と快慶らによって制作された力強い木造彫刻を何という？

1. 釈迦如来像 2. 阿弥陀如来像 3. 金剛力士像 4. 十一面観音像

答え合わせ・解説

問1	答え 1 御恩	御恩とは、将軍が御家人に対して行う経済的・地位的な保護のことです。主なものとして、先祖伝来の土地の所有を認める「本領安堵」や、手柄を立てた者への「新恩給与」がありました。これに対し、御家人は軍役（戦いの際の兵士としての務め）や京都・鎌倉の警備などの奉公を果たす必要がありました。
問2	答え 2 厳格	鎌倉時代の武士は、富や権力を誇示するよりも、質素で厳格な生活を送り、主君に対する絶対的な忠誠を誓うことを美德としました。この精神性は、仏教の禅宗の普及とも結びつき、武士社会における倫理規範として定着しました。
問3	答え 3 元軍	元軍は、モンゴル人を中心に、支配下の漢人や高麗人などを加えた巨大な連合軍でした。火薬を使った「てつはう」などの兵器を使い、集団で組織的に戦う戦法をとったため、個人の武勇を競う当時の武士たちを苦しめました。
問4	答え 4 1185年	1185年は、壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡した年です。この年、源頼朝は朝廷から守護・地頭の設置権を認めさせ、全国的な支配力を強めました。これにより、貴族中心の政治から、武士が政治の主導権を握る中世社会への移行が決定づけられました。
問5	答え 2 承元の法難	1207年、法然の門弟が起こしたトラブルをきっかけに、旧仏教勢力は朝廷に働きかけました。その結果、法然は承元の法難によって讃岐（現在の香川県）へ流罪となり、多くの弟子も処分されました。これは、新しい教えと古い既得権益側の間の対立が深刻化した事件でした。
問6	答え 1 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権です。元からの服属要求に対し、使者を処刑するという強硬な姿勢をとりました。1274年の文永の役、1281年の弘安の役の際には、自ら指揮を執り、防塁の建設や御家人への動員命令を通じて国家の危機を救いました。
問7	答え 3 軍役	御家人の重要な義務が軍役です。これは将軍から命じられた戦場に馳せ参じ、自ら武具を揃えて戦う義務のことです。これに加え、京や鎌倉を警備する番役などの奉公がありました。これらを通じて、御家人は自分の領地を守り、主君からさらなる恩賞を得ることを目指しました。
問8	答え 4 守護・地頭	頼朝は、朝廷の許可を得て、各国に「守護」を、荘園や公領ごとに「地頭」を置きました。守護は軍事・警察・徴税などを指揮し、地頭は土地の管理や年貢の取り立てを行いました。これにより、全国的な武家による支配体制が整いました。
問9	答え 2 御家人	彼らは平時の警備や戦時の戦闘を担う、幕府の軍事的基盤でした。元軍との戦いにおいては、少人数での一騎打ちを重んじるこれまでの戦い方とは異なり、集団で組織的に攻めてくる元軍に対して非常に苦戦を強いられました。
問10	答え 1 鎌倉幕府	鎌倉幕府は「御恩と奉公」という主従関係を基盤に、地頭や守護を配置して日本全国の武士を統制しました。13世紀後半に元からの脅威にさらされた際、執権の北条時宗のもとで二度にわたる侵攻（元寇）を撃退しました。
問11	答え 3 一遍	一遍は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。彼が始めた宗派は時宗と呼ばれ、身分に関係なく多くの民衆から支持を集めました。
問12	答え 4 後鳥羽上皇	1221年、上皇は全国の武士に対して幕府討伐の院宣を出し、挙兵しました。これが「承久の乱」です。しかし、北条政子らの主導により幕府軍が迅速に対応したため、朝廷側は敗北しました。その結果、首謀者である後鳥羽上皇は隠岐へ流されることとなりました。
問13	答え 2 元軍	執権である北条時宗は、この要求を拒否しました。その結果、元は二度にわたって日本へ大軍を送り込みました（文永・弘安の役）。時宗は御家人を指揮し、激しい防戦を行いました。元軍の高度な戦術や火器に苦戦しましたが、最終的に元軍は撤退しました。
問14	答え 1 マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロはヴェネツィア出身の商人であり、中央アジアを通って元の都（大都）へ渡り、フビライ＝ハンに仕えました。帰国後に投獄された際、同房の人物に語り聞かせたアジアの記録が『東方見聞録』としてまとめられました。
問15	答え 3 金剛力士像	金剛力士像は、阿形（あぎょう）と吽形（うんぎょう）の二体で構成される巨大な仏像です。寄木造という技術を用い、筋肉の盛り上がりや表情に至るまで、極めて現実的で力強い表現がなされています。これは当時の武士たちの気風を反映したもので、鎌倉文化の代表作です。